

政策研究レポート

地方圏在住の若年層の東京圏への進学、就職意向及び出身地へのUターン可能性に関する調査

自治体経営改革室 室長 大塚 敬

研究開発第2部 主任研究員 沼田 壮人

研究開発第2部 副主任研究員 山下 八重子

各地で「地方創生」を目的とした様々な施策が推進されていますが、国が公表した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のKPI検証結果によると、地方から東京圏への人口流出は未だに続いています。そして、若い世代が進学、就職時に東京圏に流出することがその大きな要因であると言われています。

では、地方圏で暮らす若年層は、実際に東京圏への進学、就職やその理由、将来の地元へのUターンの可能性などについて、どのような考えを持っているのでしょうか。三菱UFJリサーチ&コンサルティングでは、地方圏に居住する18歳から22歳の1,000人を対象として、これらの点について意識・意向調査を実施しました。

< 調査結果概要 >

■進学、就職の希望と東京圏への移住可能性について

- 希望する進路先の所在地は、全体としては「地元の進路先以外は考えていない」が37.2%で最も多いが、大学への進学希望者は「東京圏の進路先以外は考えていない」が20.1%で最も多く、出来れば東京が希望、東京ではないが地元以外の地域が希望、も含めると大学進学希望者の47.0%が地元以外の進路を希望している。
- 一方、「地元の進路先以外は考えていない」とする回答割合は専門学校・各種学校への進学希望者で高く、53.3%と過半数を占めている。
- 長男、長女の場合も全体と比較して明確な傾向はなく、俗に言う、長男、長女が家を継ぐために地元に残らなければならないと考えるというような傾向は見られなかった。

■進路先の地域を希望する理由

- 東京圏の進路先を希望する者は、進路先に関係なく、働く環境、生活する環境、学ぶ環境として東京圏に魅力を感じていることをその理由として挙げる者が多い。
- 地元の進路先を希望する者も同様であるが、地元の場合は特に生活する環境として地元の魅力を感じていることをその理由として挙げる者が多い。

■東京圏の進路先を希望する者の将来のUターンの可能性

- 東京圏の進路先を希望する者は、「東京圏ですっと暮らしたい」が最も多く、「将来はさまざまな地域に住んでみたい」がこれに次いでおり、地元に戻らない者が約5割を占めている。
- 結婚や子どもができた時に地元に戻るという意向を持つ者は5%以下にすぎず、「仕事を定年退職したら地元に戻りたい」とする者も11.4%に留まっている。

【目 次】

I.	調査の概要	3
1.	調査内容	3
2.	調査実施時期、実施方法	3
3.	調査対象	3
4.	調査結果をみる上での注意事項	3
II.	調査結果概要	4
III.	調査結果	5
1.	回答者の属性	5
2.	進学、就職の希望と東京圏への移住可能性について	8

1. 調査の概要

1. 調査内容

進学、就職時の地域選択意向について
 上記の理由について
 将来の出身地へのUターン意向について

2. 調査実施時期、実施方法

平成 30 年 2 月、インターネット調査により実施

3. 調査対象

調査対象：インターネット調査会社の登録モニターのうち、東京圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）の 1 都 4 県。以下同様）以外に居住する、18 歳以上 22 歳以下の男女 1,000 人。

（注）東京圏および地方の圏域の分類は以下のとおり（以下同様）。

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県

東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、山梨県

北陸：富山県、石川県、福井県

中部：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

海外：海外

4. 調査結果をみる上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数を指す。
- ・百分率（％）の計算は、小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示している。したがって、回答率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示等の都合により、調査票の選択肢等の文言を一部言い換え・簡略化している場合がある。

11. 調査結果概要

(1) 進学、就職の希望と東京圏への移住可能性について

- ・希望する進路先の所在地は、全体としては「地元の進路先以外は考えていない」が 37.2%で最も多いが、大学への進学希望者は「東京圏の進路先以外は考えていない」が 20.1%で最も多く、出来れば東京が希望、東京ではないが地元以外の地域が希望、も含めると大学進学希望者の 47.0%が地元以外の進路を希望している。
- ・一方、「地元の進路先以外は考えていない」とする回答割合は専門学校・各種学校への進学希望者で高く、53.3%と過半数を占めている。
- ・長男、長女の場合も全体と比較して明確な傾向はなく、俗に言う、長男、長女が家を継ぐために地元に残らなければならないと考えるといった傾向は見られなかった。

(2) 進路先の地域を希望する理由

- ・東京圏の進路先を希望する者は、進路先に関係なく、働く環境、生活する環境、学ぶ環境として東京圏に魅力を感じていることをその理由として挙げる者が多い。
- ・地元の進路先を希望する者も同様であるが、地元の場合は特に生活する環境として地元の魅力を感じていることをその理由として挙げる者が多い。

(3) 東京圏の進路先を希望する者の将来のUターンの可能性

- ・東京圏の進路先を希望する者は、「東京圏ですっと暮らしたい」が最も多く、「将来はさまざまな地域に住んでみたい」がこれに次いでおり、地元に戻らない者が約5割を占めている。
- ・結婚や子どもができた時に地元に戻るといった意向を持つ者は5%以下にすぎず、「仕事を定年退職したら地元に戻りたい」とする者も 11.4%に留まっている。

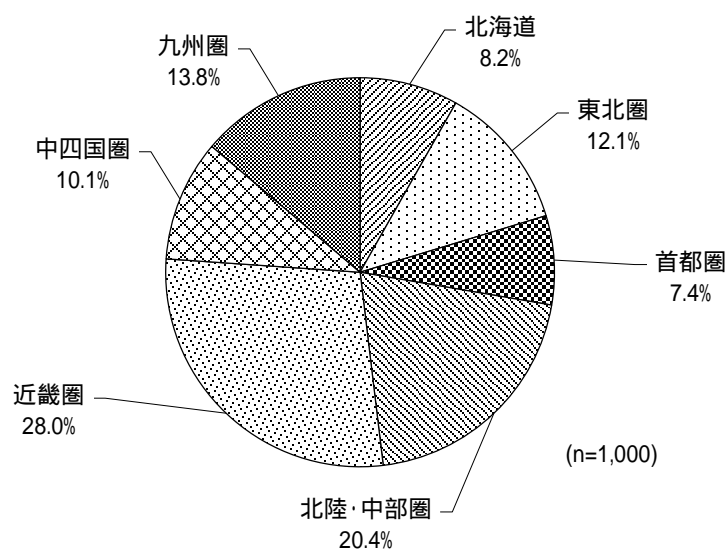
III. 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 現在の居住地

現在の居住地は、「近畿圏」が28.0%で最も多く、次いで「北陸・中部圏」(20.4%)、「東北圏」(12.1%)、「中四国圏」(10.1%)、「首都圏」(7.4%)の順となっている。

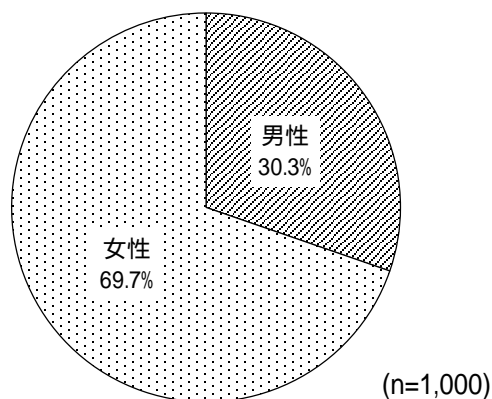
図表1 現在の居住地(単一回答)



(2) 性別

性別は、「男性」が30.3%、「女性」が69.7%となっている。

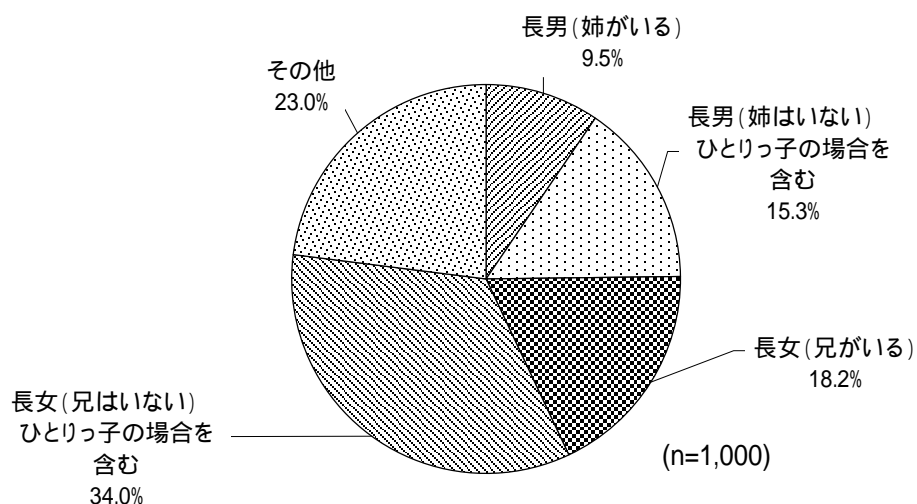
図表2 性別(単一回答)



(3) 兄弟の中での立場

兄弟の中での立場をみると、ひとりっ子の場合を含む「長女（兄はいない）」が 34.0%、「長男（姉はいない）」15.3%となっており、長男・長女の割合が 49.3%と全体の約半数を占める。

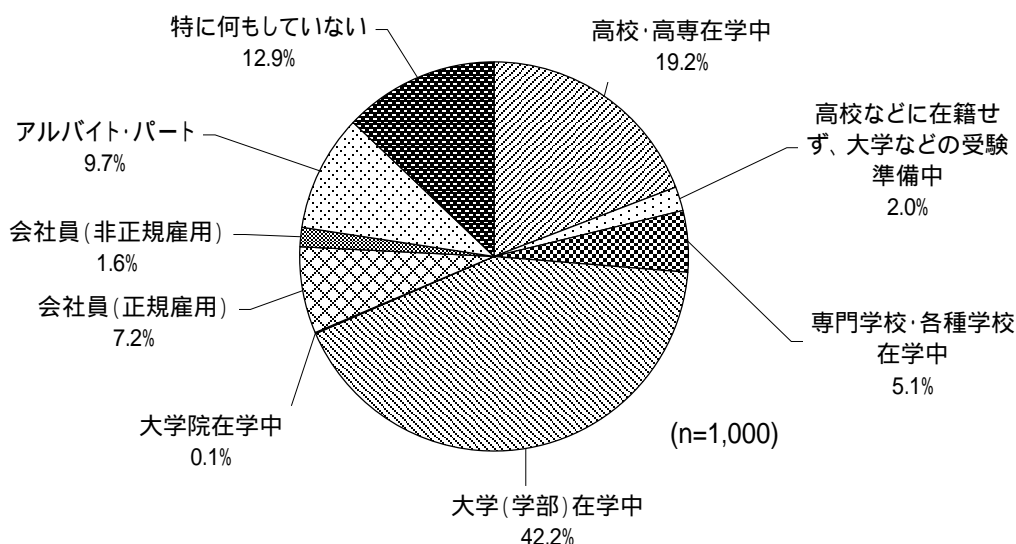
図表 3 兄弟の中での立場



(4) 現在の社会的な立場

現在の社会的な立場は、「大学（学部）在学中」が最も高く 42.2%となっている。次いで「高校・高専在学中」が 19.2%を占める一方、「特に何もしていない」が 12.9%となっている。

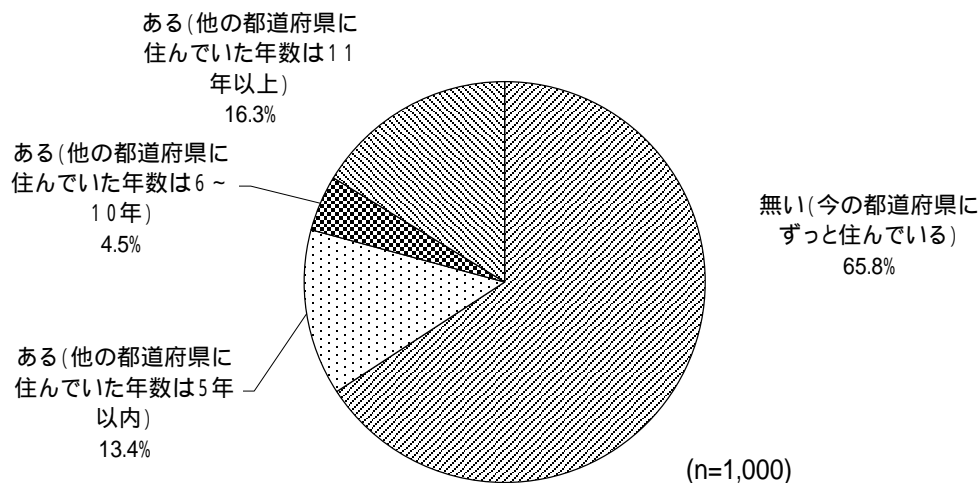
図表 4 社会的な立場(単一回答)



(5) 他の都道府県での居住年数

他の都道府県に住んでいた年数は、「無い(今の都道府県にずっと住んでいる)」が最も高く 65.8%となっている。次いで「ある(他の都道府県に住んでいた年数は11年以上)」が 16.3% 「ある(他の都道府県に住んでいた年数は5年以上)」が 13.4%となっている。

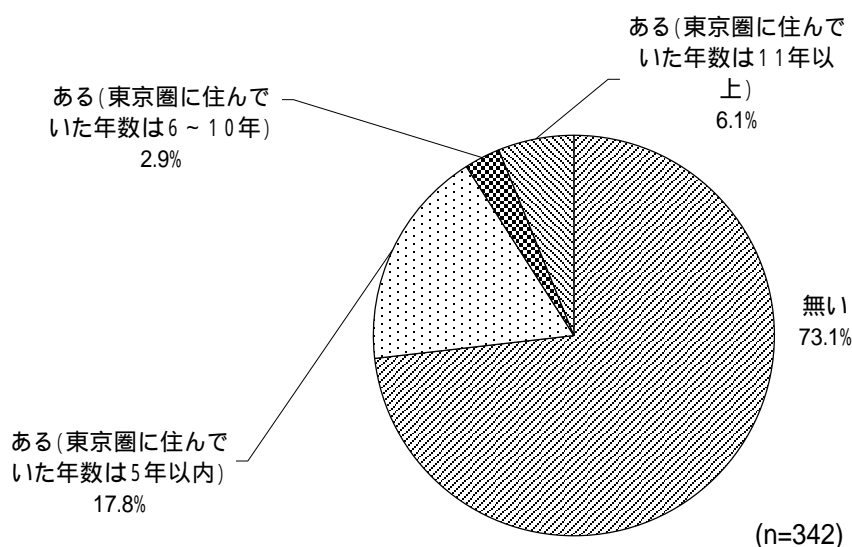
図表 5 他の都道府県での居住年数(単一回答)



(6) 東京圏での居住年数

東京圏での居住年数は「無い」が最も高く 73.1%となっている。次いで「ある(東京圏に住んでいた年数は5年以内)」が 17.8%となっている。

図表 6 東京圏での居住年数(単一回答)

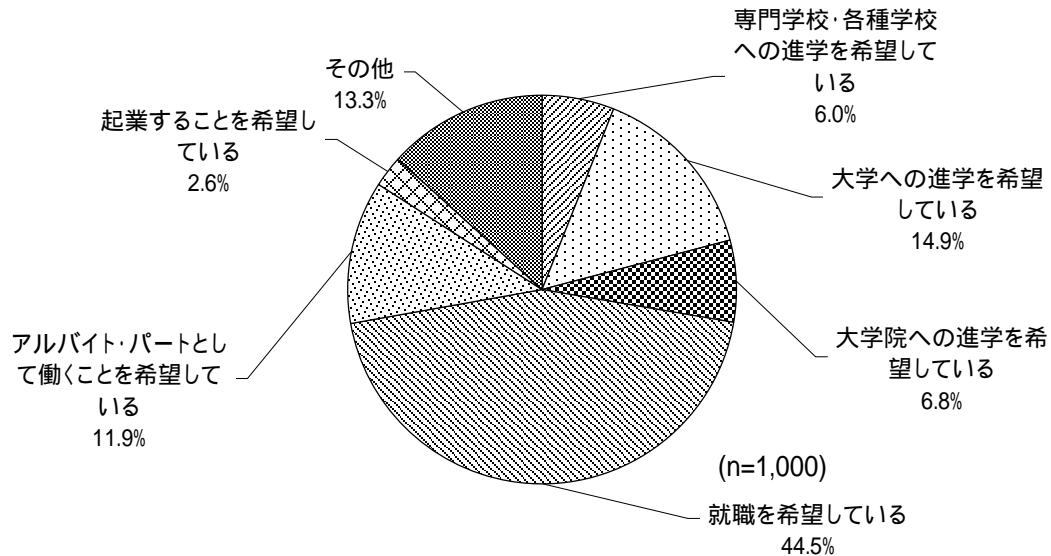


2. 進学、就職の希望と東京圏への移住可能性について

(1) 希望する進路

将来の進路の希望は「就職を希望している」の割合が最も高く 44.5%となっている。次いで「大学への進学を希望している」が 14.9%、「アルバイト・パートとして働くことを希望している」が 11.9%となっている。

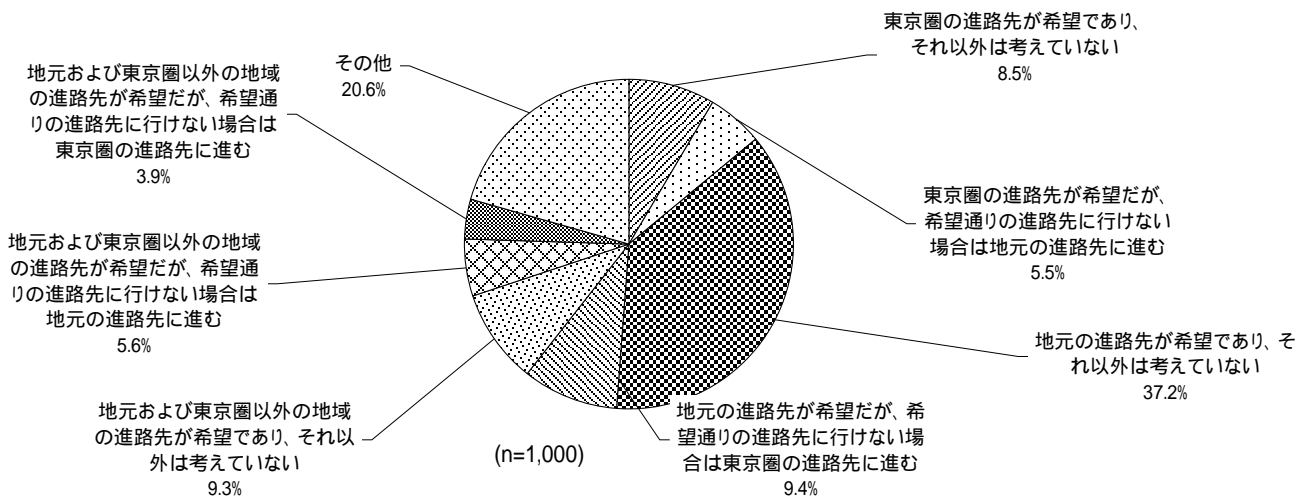
図表 7 希望する進路(単一回答)



(2) 進路先の希望所在地

進路先の希望所在地は、「地元の進路先が希望であり、それ以外は考えていない」とする人の割合が最も高く 37.2%である。次いで「その他」が 20.6%、「地元の進路先が希望だが、希望通りに行けない場合は東京圏の進路先に進む」とする人の割合が 9.4%となっており、進路先の希望所在地として地元を希望する人の割合が 46.6%となっている。

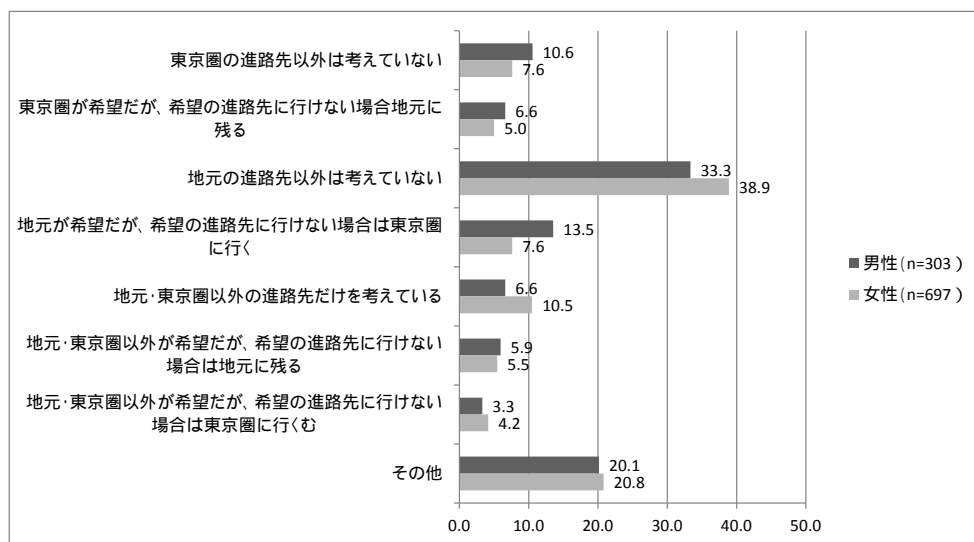
図表 8 希望する進路先の地域(単一回答)



① 性別の傾向

性別に進路先の地域を見ると、女性の方が「地元以外の進路先を考えていない」やや多く、男性の方が「東京圏の進路以外は考えていない」がやや多くなっている。ただし、男性の方が「地元が希望だが、希望の進路先に行けない場合は東京圏に行く」が多く、女性の方が「地元・東京圏以外の進路先だけを考えている」が多いなど、男性より女性の方が地元志向が強いとも言いがたい状況にある。

図表 9 男女別進路先の地域(単一回答)



② 長男、長女か否かによる傾向

長男、長女か否かと希望する進路先の地域との関係を見ると、全体と比較して明確な傾向はなく、俗に言う、長男、長女が家を継ぐために地元に残らなければならないと考えるといった傾向は、実際にはほとんどないという結果となっている。

図表 10 長男、長女か否かと進路先の地域との関係(単一回答)

	東京圏の進路先以外は考えていない	東京圏が希望だが、希望の進路先に行けない場合地元に残る	地元の進路先以外は考えていない	地元が希望だが、希望の進路先に行けない場合は東京圏に行く	地元・東京圏以外の進路先だけを考えている	地元・東京圏以外が希望だが、希望の進路先に行けない場合は地元に残る	地元・東京圏以外が希望だが、希望の進路先に行けない場合は東京圏に行く	その他
全体 (n=1000)	8.5	5.5	37.2	9.4	9.3	5.6	3.9	20.6
長男 (姉がいる) (n=95)	10.5	5.3	37.9	15.8	6.3	4.2	2.1	17.9
長男 (姉はいない) ひとりっ子の場合を含む (n=153)	11.1	9.2	33.3	13.1	5.9	4.6	2.6	20.3
長女 (兄がいる) (n=182)	10.4	2.2	41.2	7.1	11.5	3.8	2.2	21.4
長女 (兄はいない) ひとりっ子の場合を含む (n=340)	6.2	6.2	40.6	7.9	11.5	5.9	5.3	16.5
その他 (n=230)	7.8	4.8	31.3	8.3	7.8	7.8	4.8	27.4

③ 進路の希望別の傾向

進路の希望別に、進路先の地域を見ると、大学への進学希望者は、東京圏の進路は考えていないが20.1%、地元・東京圏以外が16.4%となっており、希望の進路先に行けない場合は地元に残るとしている東京圏、地元・東京圏以外希望者も含めると、大学進学希望者の47.0%が地元以外の進路を希望している。一方、「地元の進路先以外は考えていない」とする回答割合は専門学校・各種学校への進学希望者で高く、53.3%と過半数を占めている。

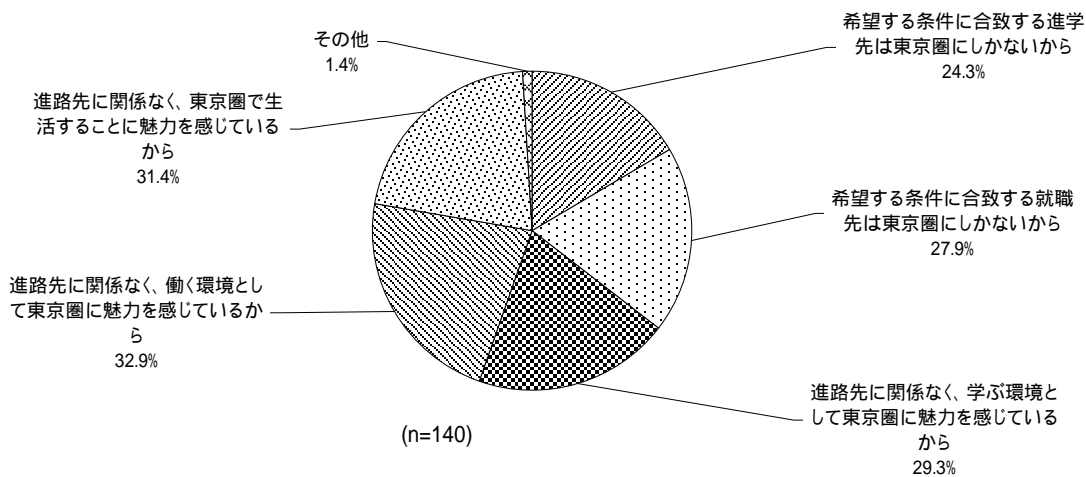
図表 11 希望する進路別進路先の地域(単一回答)

	東京圏の進路先以外は考えていない	東京圏が希望だが、希望の進路先に行けない場合地元に残る	地元の進路先以外は考えていない	地元が希望だが、希望の進路先に行けない場合は東京圏に行く	地元・東京圏以外の進路先だけを考えている	地元・東京圏以外が希望だが、希望の進路先に行けない場合は地元に残る	地元・東京圏以外が希望だが、希望の進路先に行けない場合は東京圏に行く	その他
全体(n=1000)	8.5	5.5	37.2	9.4	9.3	5.6	3.9	20.6
専門学校・各種学校への進学希望(n=60)	13.3	3.3	53.3	6.7	10.0	5.0	3.3	5.0
大学への進学希望(n=149)	20.1	6.0	36.2	4.7	16.1	4.7	5.4	6.7
大学院への進学希望(n=68)	8.8	4.4	39.7	19.1	5.9	5.9	1.5	14.7
就職を希望(n=445)	7.0	7.9	39.6	13.3	9.0	7.2	4.3	11.9
アルバイト・パート希望(n=119)	3.4	0.8	44.5	5.0	10.1	3.4	5.0	27.7
起業希望(n=26)	7.7	7.7	15.4	11.5	11.5	15.4	3.8	26.9
その他(n=133)	3.0	2.3	19.5	1.5	3.0	1.5	1.5	67.7

(4) 東京圏の進路先を希望する理由

「東京圏の進路先以外は考えていない」、「東京圏が希望だが、希望の進路先に行けない場合地元に残る」と回答した人が、東京圏の進路先を希望する理由は「進路先に関係なく、働く環境として東京圏に魅力を感じるから」とする人の割合が最も高く 32.9%となっている。次いで、「進路先に関係なく、東京圏で生活することに魅力を感じているから」が 31.4%、「進路先に関係なく、学ぶ環境として東京圏に魅力を感じているから」29.3%となっており、進学先、就職先とは関係無く、東京圏の環境に魅力を感じている人が多くなっている。

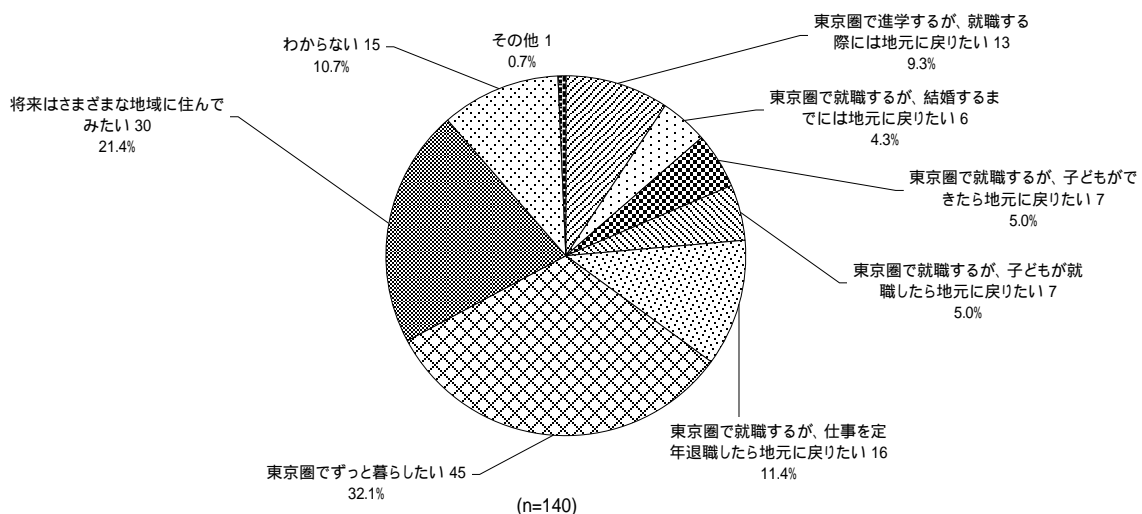
図表 12 東京圏の進路先を希望する理由(複数回答)



(5) 将来の居住地の希望

「東京圏の進路先以外は考えていない」、「東京圏が希望だが、希望の進路先に行けない場合地元に残る」と回答した人が、将来居住したいと考えている地域は、「東京圏ですっと暮らしたい」が最も多く 32.1%となっている。次いで「将来はさまざまな地域に住んでみたい」が 21.4%であり、「東京圏で就職するが、仕事を定年退職したら地元に戻りたい」は 11.4%に留まっている。

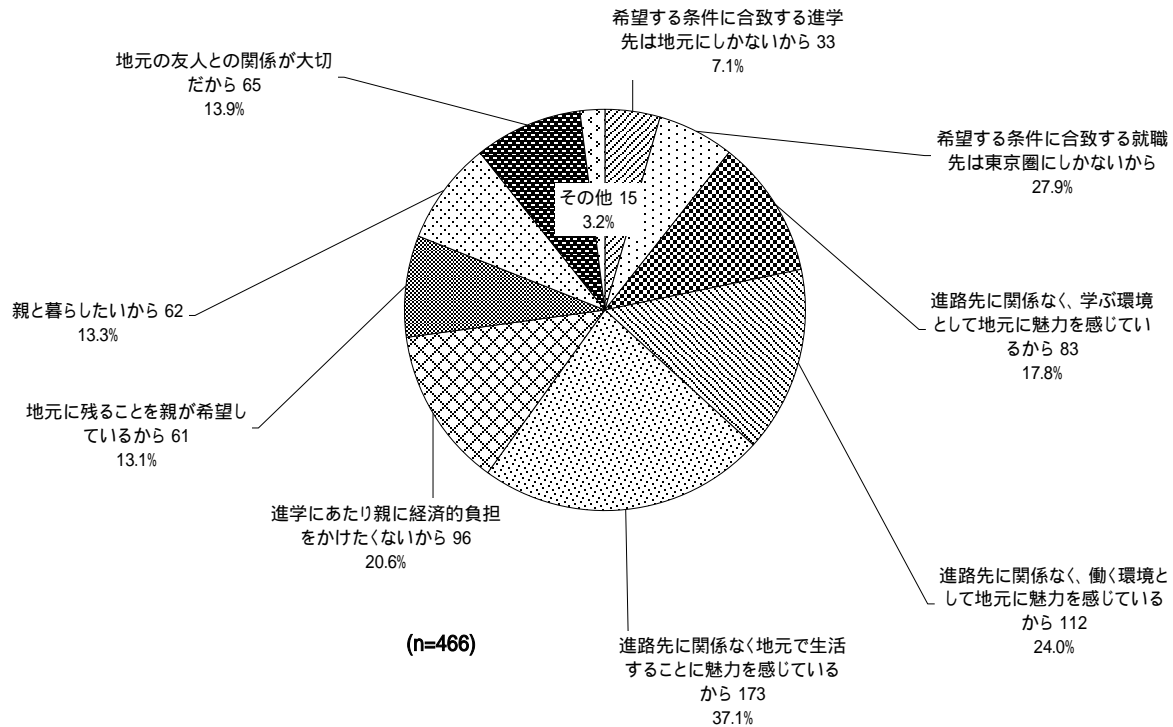
図表 13 将来の居住地の希望(単一回答)



(6) 地元の進路先を希望する理由

一方、「地元の進路先以外は考えていない」、「地元が希望だが、希望の進路先に行けない場合は東京圏に行く」と回答した人が地元の進路先を希望する理由は、「進路先に関係なく地元で生活することに魅力を感じているから」が最も多く 37.1%となっている。次いで「進学にあたり親に経済的負担をかけたくないから」が 20.6%、「進路先に関係なく、学ぶ環境として地元の魅力を感じているから」が 17.8%となっている。

図表 14 地元の進路先を希望する理由



- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。